

ゲストティーチャー 井上 直子さん 紙芝居いっぷく座・鶴二小卒業生

読み聞かせ時間に昔話の紙芝居を披露していただいています。



井上さんの紙芝居は全てお手製で、登場人物に愛着がわいてくるような温かなタッチで描かれています。そして語り口調は、伝統芸能のひとつである講談を取り入れています。リズムカルな語り口調によってお話の世界に次第に引き込まれていく…その時間は、子どもたちにとって貴重で贅沢な時間となりました！

🍳 1年 「かさじぞう」



温かい気持ちになる大晦日の昔話です。井上さんの優しく穏やかな声色に、子どもたちはすっかりお話に引き込まれていました。『おおみそか』もしっかり覚えました。

🍳 2年 「オコゼと山の神」



収穫を感謝する季節にちなんだ昔話。収穫を司る山の神がおこぜで機嫌が直り、不作を回避できたことに安心する子どもたち。魚のおこぜが気になって、図鑑で調べていました。

🍳 5年 落語「転失気」

★国語科との連携学習「伝統芸能」



落語の本に興味津々

知ったかぶりをする大人の言動が滑稽なお話です。途中「転失気」の意味を聞いた子どもたちは、その勘違いに笑いが止まりませんでした。知らない言葉は素直に聞くが一番！

🍳 なかよし学級 「三枚のおふだ」



小僧さんがやまんばに追いかける場面では、井上さんの緊迫感のある語り口調に息をのむ子どもたち。やまんばが退治されると、安堵の表情が広がっていました。